

# 「も」の助詞の分析

## 1. 序論

一つの日本語の独特は助詞です。富田によると単独で使われることはなく、主として自立語に付いて、補助的な意味を付け加えたり、その自立語と他の自立語との関係を示したりする単語を「助詞」と言います。

「も」を分析される助詞は使い方で意味がいろいろある。それで、私はこの助詞を分析するの興味がある。

## 2. 本論

(1) これはえんぴつです。それもえんぴつです。 (BnKCtSO:133)

|            |    |   |         |
|------------|----|---|---------|
| 。          | N  |   |         |
| これはえんぴつです。 | それ | も | えんぴつです。 |

二つの文は述語「えんぴつ」が同じである。それで、同じ物事を述べるのに「も」が使える。「も」は主語にとして機能がある名詞の「それ」を後に付ける。

インドネシア語に、「も」の意味は“juga”です。この助詞の機能は同じ主語の場合ときに同じ物事を付け加えるです。

## 3. 結論

「も」の意味は二つに分類している。

A. 同じ物事を述べるときに使う

例：(3) あなたも私も同じ学校の学生です。(BKCSO : 133)

B. 強調で使う

(a) 疑問視につけるとき

例：(4) 愛もなにもない乾いた心に潤いが戻ってきた。(NBiJ : 573)

(b) 数量につけるとき

例：(5) 交通事故で 1 年間に 1 万人も人が死んでいる。(PJW : 18)

(c) 付け加えるとき

例：(6) 地図もきっぷも買っています。(PJW : 17)

(d) 極端な例につけるとき

例：(7) のどが痛くて水も飲めなかった。(PJW : 18)

「も」は主語、述語、対象語の後につける。

a. 主語 + も

(8) A さんも B さんもタイ人です。(BKCSO : 133)

b. 述語 + も

(9) 賛成するもしないもないんですよ。(NBiJ : 572)

c. 対象語 + も

(10) 私はお金が欲しいです。時間も欲しいです。(BKCSO : 134)

「も」は名詞、動詞、形容詞、形容動詞の後につける。また、「も」は「に」「で」「へ」のように他の助詞の後にもつけ加える。

a. に＋も

(12)東京へ行くので、帰りに静岡にも寄って来る。(NBJ:571)

b. で＋も

(13)この映画は面白くないし、特に教育的でもない。(NBJ : 180)

c. へ＋も

(14)私は京都へも奈良へも行きたいです。(BKCSO : 135)

## DAFTAR ISI

Kata pengantar

Daftar isi

Bab I : Pendahuluan

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 1.1 Latar Belakang Masalah..... | 1 |
| 1.2 Rumusan Masalah.....        | 6 |
| 1.3 Tujuan Penelitian.....      | 6 |
| 1.4 Metode Penelitian.....      | 7 |
| 1.5 Organisasi Penulisan.....   | 8 |

Bab II : Kajian Teori

|                      |    |
|----------------------|----|
| 2.1 Sintaksis.....   | 9  |
| 2.2 Semantik.....    | 16 |
| 2.3 Joshi.....       | 19 |
| 2.3.1 Fukujoshi..... | 22 |
| 2.3.2 Joshi も.....   | 22 |

Bab III ANALISIS JOSHI (助詞)も DALAM KALIMAT BAHASA JEPANG.....28

Bab IV KESIMPULAN.....65

DAFTAR PUSTAKA

LAMPIRAN

SINOPSIS

RIWAYAT HIDUP